

平成23～25年度 学校づくりビジョン

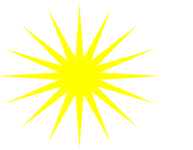
常磐小学校

(平成23年度版)



〈教育目標〉

個が生きる 共に生きる



めざす学校の姿

「笑顔とあたたかいまなざしのある学校」

ビジョンⅠ

確かな学力の定着と充実

- 基礎・基本の定着と学力推進
 - ・日々の授業での考える場・伝え合う場の設定
 - ・計算の反復練習を朝の10分間学習で実施
 - ・読み書き計算の習熟を図るための継続した家庭学習
 - ・発達段階に応じた宿題の工夫
 - ・4年生以上で算数の到達度検査の実施
 - ・児童の実態把握と学習形態・指導体制の工夫
 - ・少人数教育の実施(3～6年生の算数)
- 考える力を養うための読書指導の充実
 - ・朝の読書タイムと毎月の読書週間の設定
- 個に応じたきめ細やかな指導
 - ・児童の日常の様子記録
 - ・学年集団で児童の観察・情報交換
 - ・児童の実態や願いの把握
- よりきめ細やかな個に応じた特別支援教育の実施

ビジョンⅡ

心の教育の推進

- 豊かな人間性の育成
 - ・基本的生活習慣の定着(学校のきまり, あいさつ, 忘れ物, 掃除等)
 - ・「道徳の時間」を要した道徳教育の充実
 - ・家庭・地域との連携(道徳の授業公開/年1回)
- ちがいを認め合い, 仲間と共に生きる力
 - ・人権を視点にした授業の実施
 - ・自分や友達のよさや違いが認められる仲間づくり(仲間づくり研修会/年2回)
 - ・自分の生き方につながる総合的な学習
- 正しい判断力・責任感の育成
 - ・積極的, 継続的な家庭訪問
 - ・不登校の未然防止(子どもの居場所づくり, 互いを認められる関係づくりなど)
 - ・問題の早期発見, 早期対応(Q-U調査/年2回, 日常観察, 日記, 生活ノート等)
 - ・教育相談(教育相談週間)

ビジョンⅢ

たくましい体の育成と安全意識の向上

- 安全意識を高める
 - ・遊具の使い方指導と安全点検(月1回)
 - ・室内の過ごし方指導
 - ・定期的な指導(登校指導11回以上・下校指導)
 - ・実質的な訓練(避難訓練・緊急下校訓練・不審者対応訓練等)
 - ・交通安全教室の開催(1年・4年)
 - ・薬物乱用防止教室の開催(6年)
- 体力づくりの推進
 - ・体育的活動の充実(運動会・なわとび・ランニング・学級遊び)
 - ・体力づくり週間(ランニング:2学期・なわとび:3学期)
- 基本的生活リズムの充実と改善
 - ・栄養教諭・養護教諭との授業連携(学期に1回)
 - ・学校保健委員会と連携した生活リズム改善

よく考える子

やさし子

やりとげ子

めざす
子どもの
姿

ビジョンⅣ

保護者・地域との連携の推進

- 地域に開かれた学校づくり
 - ・授業参観, 一日フリー参観, 授業参観週間の実施
 - ・学校通信, 学級通信, 学校ホームページ等で情報発信
- 保護者・地域のニーズの把握
 - ・主任児童委員, 自治会長等地域の方々との懇談
 - ・保護者アンケート, 児童アンケートの実施(年1回以上)
 - ・アンケート結果の分析, 改善策の検討
 - ・学校づくり協力者会議の実施(年3回以上)
 - ・家庭訪問, 保護者懇談会の実施
- 関係機関との連携
 - ・中学校区保・幼・小・中との連携
 - ・人権プラザ赤堀, 児童相談所, 家庭児童室等との連携強化
- 保護者・地域の人材活用
 - ・通学路の安全確保のための見守り等ボランティア
 - ・学習支援ボランティア(図書館, 書写, 水泳, 校外活動等)

ビジョンⅤ

校内研修の推進—教師の授業力向上

- 算数科を中心とした校内研修の推進
 - ・学びの一体化の推進
 - ・学び合いのある提案授業の実施(全教員年1回)
 - ・研修の日常化(日々の授業の公開)
 - ・新採研修における示範授業の実施(全教員年2回ずつ)
- 算数科における指導の工夫と学び合えるなかまづくり
 - ・算数的な活動を重視し, 学習への関心・意欲を高める授業づくり
 - ・少人数指導やTT指導等, 教育効果のある指導の工夫
 - ・学び合いのできる, 人権が尊重される学級づくり
 - ・学びの一体化による関係を重視した学習形態の工夫(ペア学習やグループ学習等)
 - ・ICTの積極的な活用と学習意欲を高める授業づくり
- 各種研修会への参加, 先進校視察, 外部講師の招聘
 - ・教員の得意分野を生かした校内研修(リクエスト研修)
 - ・研究協議会への積極的な参加
 - ・先進校視察の推進と環流
- 教職員の人権意識の高揚(人権研修会への参加/年1回以上)

輝くひとみ 授業100%

〈けじめ・集中・感動の授業〉

五角形と六角形を模してデザイン化しました。

「ときわ」は常盤とも常磐とも書きませんが、盤は下割れ易く、磐は下割れにくいので、常磐と書かれます。

「ときわ」は常盤とも常磐とも書きませんが、盤は下割れ易く、磐は下割れにくいので、常磐と書かれます。